

安岡秀夫 （安岡） 評論家。明治二十八年東京生れ、昭和五年八月一日没（一八七二—一九二〇）。號南園、南極老人、南極老屋。同仁社、慶應義塾に在る。明治二十八年時事新報社入社、二十五年社説記者、のち主筆。

譯著書、ジヤブソン（ハーラー、ガラツト、ジヤブソン）著、一九一九年  
紀列國史（福井準造註譯、明治二十年七月、二十五年福井準造刊、有  
斐閣書房・庚寅新社社發賣）、日本と支那と（大正四年七月、二  
有聲社）、小説から見た支那の民族性（大正十五年四月十日聚芳  
閣）等。

